縁框（えんかまち）

「和」の美は、 枠の中にこそ際立ちます。 鳥居や大門、茶室から望む庭園のように、 限られた視界があるからこそ、風景の中に美の焦点が生まれます。

枠があることで、 見るべきものとそれを引き立てる背景の対比が際立ち、 美に陰影が生まれます。

本作では、 四方に木枠を設け、それを通して景色を切り取ることで、来訪者それぞれが自身の「和」の美を発見できる体験を目指します。